

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報														位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																					
事務事業名		じんかい処理経費				補助区分		<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単		終期		<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算科目		区分		一般会計		款		4		項		2		目		2		事業		1	
担当部		経済環境部		担当課		生活環境課		担当係		クリーン推進		係		作成者		横山 浩一		内線(電話番号)		4434		シート作成日		H30.5.28		部長決裁日		H30.6.4							
位置付けられている計画等		<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」				<input type="checkbox"/> 市民等からの要望		根拠法令及び市条例等		<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 廃棄物の処理および清掃に関する法律)		<input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:)		<input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市廃棄物の処理及び清掃に関する条例, 常総市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則)																	

2 事務事業の目的														当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。													
現状課題		現在、主にステーション方式によりごみの収集運搬しているが、ごみの分別(可燃・不燃・資源)が不十分な地域が多い状況にある。また、ごみの減量といえりサイクルが注目されているが、リデュース(発生抑制)やリユース(再利用)の取り組みが、ごみの減量に繋がっていき、事業費の削減にも繋がってくる。今後、お知らせ版等を利用して市民への3Rの周知徹底していきたい。				誰・何を対象に		一般市民を対象とした、家庭系一般廃棄物の適正処理、分別、3Rの推進				どのような方法・手順で		市民に分かりやすい分別方法のチラシの交付、集団資源回収報奨金制度、生ごみ処理容器購入費補助金交付制度を活用した周知徹底及び3Rの推進を図る。				望ましい状態		家庭から排出された一般廃棄物の分別や適正処理、活発な3R推進活動が実施され、1人当たりのごみ排出量を少なくする。							

3 事務事業の主たる成果指標														数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。													
指標名		1日1人当たりのごみ排出量		単位		g		目標値		550		目標年次		平成 34 年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)		限りある資源を有効活用するため、不燃ごみとして出していたペットボトル・プラスチック容器包装を資源物として、可燃ごみとして出していた牛乳パック類を資源物として分別収集を行うとともに、有害ごみの適正処理、粗大ごみの収集運搬の受益者負担導入により、1日1人当たりのごみ排出量を平成28年度比△3.5%のごみの減量を目指す。									

4 事務事業の実績 ㊦														当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																									
年度		平成27年度				平成28年度				平成29年度																													
		業務名				業務名				業務名																													
事務事業を構成する主な業務		① ごみ収集委託 ② ごみ不法投棄委託 ③ 不法投棄処理委託 ④ ごみ袋購入費 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫				① ごみ収集委託 ② ごみ不法投棄委託 ③ 不法投棄処理委託 ④ ごみ袋購入費 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫				① ごみ収集委託 ② ごみ不法投棄委託 ③ 不法投棄処理委託 ④ ごみ袋購入費 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫																													
		目標値に対する実績値				562 g				目標値に対する実績値				570 g																									
決算額		計		204,882,357 円		内訳		特定財源 12,446,950 円 一般財源 192,435,407 円		計		201,060,331 円		内訳		特定財源 11,546,000 円 一般財源 189,514,331 円		計		199,012,568 円		内訳		特定財源 12,272,800 円 一般財源 186,739,768 円															
		(住民一人あたりの行政コスト)				3,313 円				(住民一人あたりの行政コスト)				3,306 円																									

5 担当者評価 ㊧														実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果		目標未達成		内容		近年、平成27年度を除いた1日1人当たりのごみ排出量は、ほぼ横ばいの状況が見られる。更なる削減のための方策を検討するべきと考える。				問題点		家庭系一般廃棄物処理施設が、2つの一部事務組合に分かれているため、2つの分別方法がある点。															

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨														担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止				評価理由		一人ひとりの市民がごみの排出削減、3Rの推進に日常から取組むことにより、じんかい処理経費の削減に努めていきたい。																			

7 実施計画 ㊩														今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																							
年度		平成30年度				平成31年度				平成32年度																											
事業内容		①ごみ収集委託 ②ごみ不法投棄委託 ③不法投棄委託 ④ごみ袋購入費				①ごみ収集委託 ②ごみ不法投棄委託 ③不法投棄委託 ④ごみ袋購入費 ※3R推進活動等を推進するにより、排出量の削減を推進していく。				①ごみ収集委託 ②ごみ不法投棄委託 ③不法投棄委託 ④ごみ袋購入費 ※3R推進活動等を推進するにより、排出量の削減を推進していく。																											
予算額		歳出		計		208,141 千円		特定財源 10,500 千円 一般財源 197,641 千円		計		208,100 千円		特定財源 10,500 千円 一般財源 197,600 千円		計		208,050 千円		特定財源 10,500 千円 一般財源 197,550 千円		計		208,050 千円													
		歳入				計				208,141 千円				歳入				計				208,100 千円				歳入				計				208,050 千円			

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源予算額の金額から縮小した金額での予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、当該事業の事業費の住民1人あたりコストが3,350円であるとのことだが、少々かかりすぎていると感じる。一般廃棄物は今後減るということは極めて難しいと思われるが、可能な限りごみの減量に努めていただきたい。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪													
事務事業の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止				評価理由		市民生活に必要な経費ではあるが、3R活動の推進や生ごみリサイクルの推進など、ごみの減量化を促進し、経費節減に取り組んでいくべきである。					

11 事務事業の改善理由 ㊫														実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容		3R活動の推進、特に資源ごみに対する市民の意識改善を図るとともに、報奨金や補助金の制度を活かす生活環境にすることが、ごみの減量化に繋がる。																									